

水防法に基づく多摩川ハザードマップ〔最大浸水深〕

水害時緊急避難場所
全階使用可
条件付き使用

ハザードマップ(多摩川、高潮、中小河川)を重ね合わせた場合の最大浸水範囲

多摩川の全流域で48時間に588mmの降雨があった場合

◆このハザードマップは、国土交通省が公表した「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川の洪水浸水想定区域図(平成28年5月30日)」において、多摩川流域に大雨が降った場合に、浸水が想定される区域と想定される最大の浸水の深さを示したものです。
◆想定される降雨は、多摩川流域の48時間総雨量588mmです。

◆多摩川氾濫(洪水)

多摩川の堤防が決壊すると、大量の水がまちなかに流れ込み、家屋損壊する恐れがあります。また、浸水被害は広範囲におよびます。



浸水深の想定と目安

10.0m以上	2階の天井以上までつかる程度
5.0m~10.0m未満	1階の天井から2階の天井近くまでつかる程度
3.0m~5.0m未満	1階の床から1階の天井までつかる程度
0.5m~3.0m未満	1階の床までつかる程度
0.5m未満	

※配色については、ISOの基準や色覚障がいのある人への配慮など、国土交通省の手引きに基づき設定しています。

家屋倒壊等氾濫想定区域
(早期の立ち退き避難が必要な区域)

(氾濫流) 氾濫した水の流が直撃した場合に、標準的な木造家屋の倒壊等をもたらすような氾濫が想定される区域

(河岸侵食) 河川の激しい流れにより河岸が削られ土地が流出し、家屋が流失・倒壊する恐れのある区域

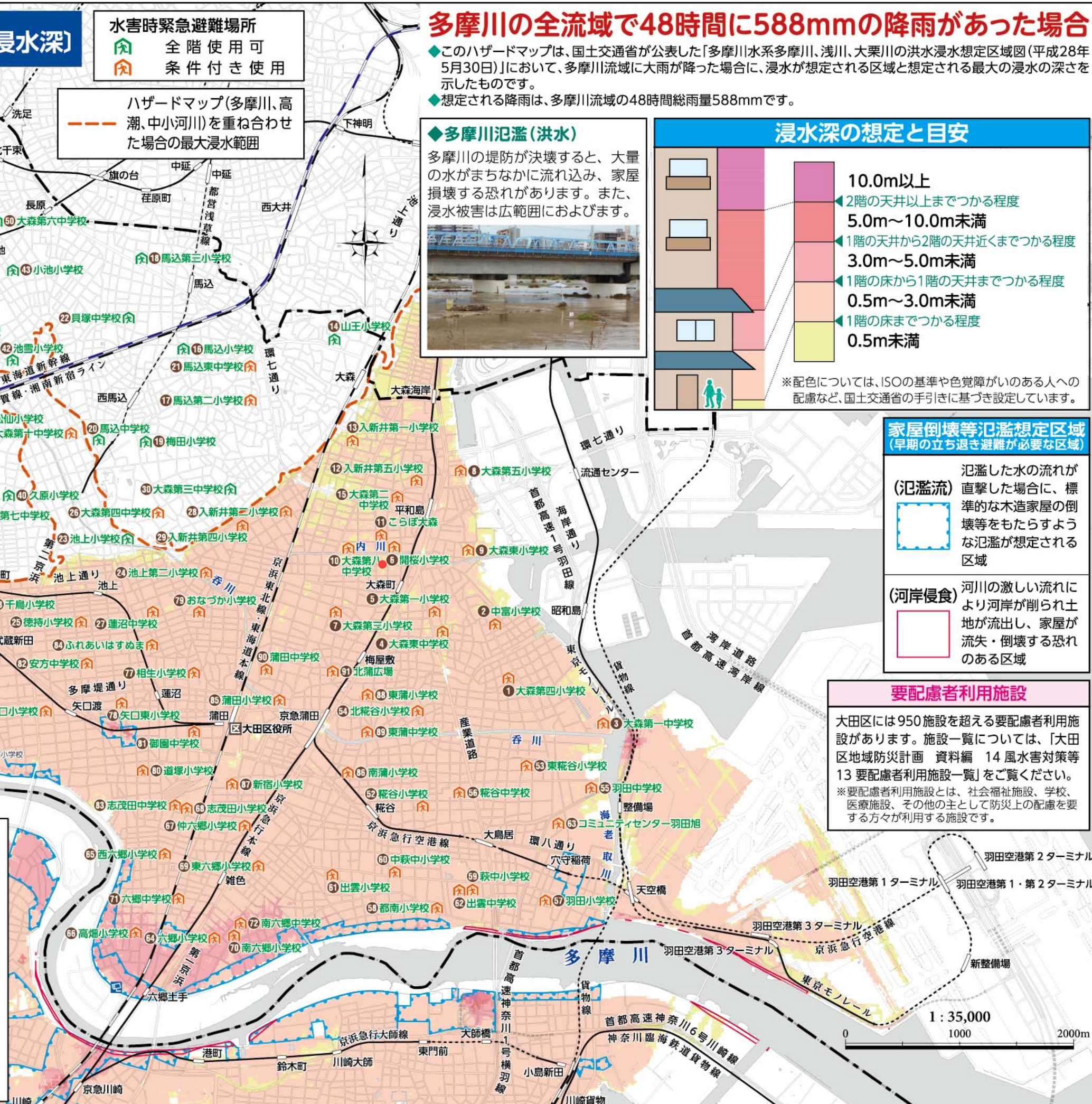
要配慮者利用施設

大田区には950施設を超える要配慮者利用施設があります。施設一覧については、「大田区地域防災計画 資料編 14 風水害対策等 13 要配慮者利用施設一覧」をご覧ください。
※要配慮者利用施設とは、社会福祉施設、学校、医療施設、その他の主として防災上の配慮を要する方々が利用する施設です。

◆多摩川の水位観測地点：田園調布(上)

現在の水位は、国土交通省ホームページの「川の防災情報」から閲覧できます(P49)。

10.35m 氾濫の発生 ▼ (警戒レベル 5 相当)	緊急安全確保
8.40m 氾濫危険水位 ▼ (警戒レベル 4 相当)	避難指示
7.60m 避難判断水位 ▼ (警戒レベル 3 相当)	高齢者等避難
6.00m 氾濫注意水位 ▼ (警戒レベル 2 相当)	
ふだんの水位 ▼	



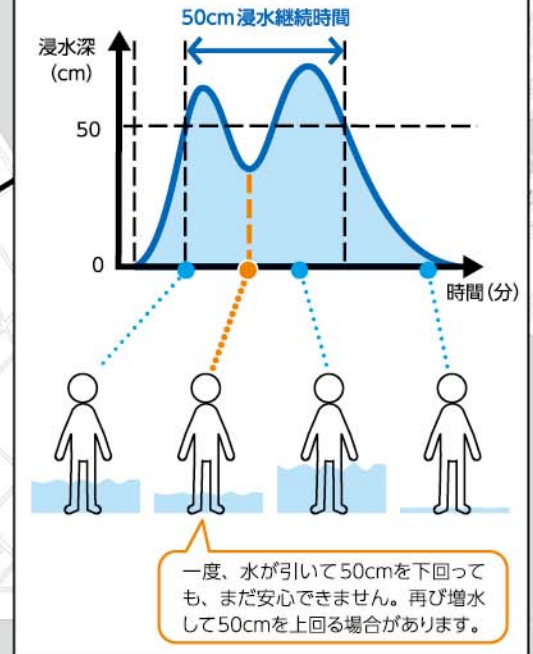
水防法に基づく多摩川ハザードマップ〔浸水継続時間〕

多摩川の全流域で48時間に588mmの降雨があった場合

◆このハザードマップは、国土交通省が公表した「多摩川水系多摩川、浅川、大栗川の洪水浸水想定区域図(平成28年5月30日)」において、多摩川流域に大雨が降った場合に、浸水が想定される区域と想定される浸水の継続時間を示したものです。
◆想定される降雨は、多摩川流域の48時間総雨量588mmです。

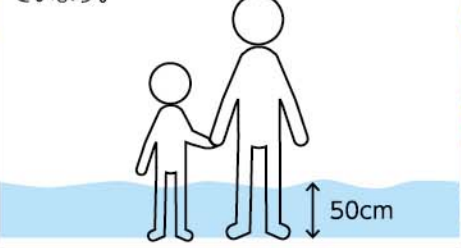
◆浸水継続時間図

浸水深が50cmになってから、最終的に50cmを下回るまでの時間(50cm浸水継続時間)の最大値を図化したものが、「浸水継続時間図」です。

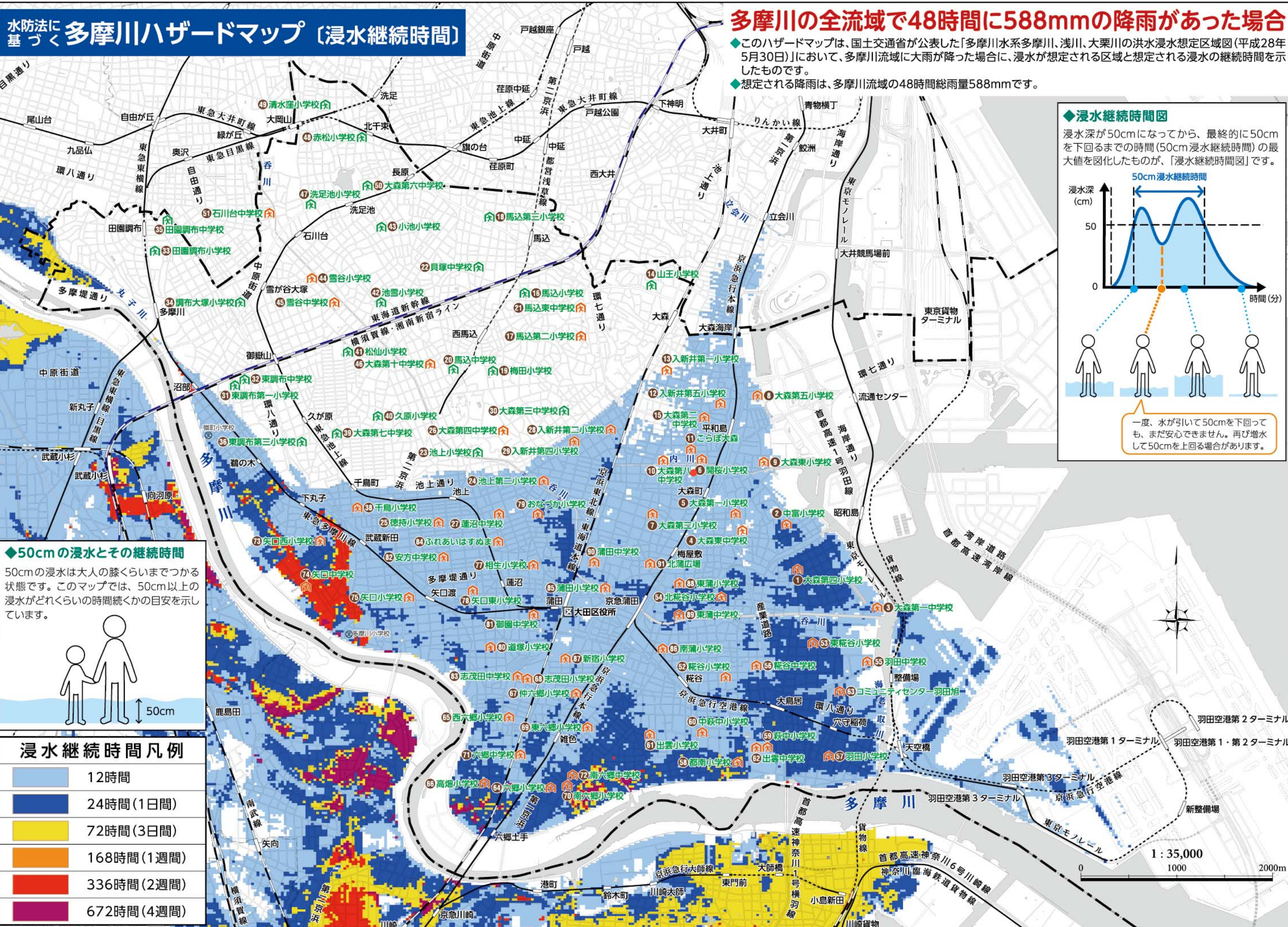


◆50cmの浸水とその継続時間

50cmの浸水は大人の膝くらいまでつかる状態です。このマップでは、50cm以上の浸水がどれくらいの時間続くかの目安を示しています。



浸水継続時間凡例	
	12時間
	24時間(1日間)
	72時間(3日間)
	168時間(1週間)
	336時間(2週間)
	672時間(4週間)



水防法に基づく高潮ハザードマップ〔最大浸水深〕

超大型の台風の接近で海面が上昇した場合

- ◆このハザードマップは、東京都が公表した「東京都高潮浸水想定区域図（令和4年4月13日）」において、台風による高潮が発生した場合に、浸水が想定される区域と想定される最大の浸水の深さを示したものです。
- ◆想定される高潮は、上陸時中心気圧910hPa、最大旋回風速半径75km、移動速度73km/hの台風による高潮です。
- ◆令和6年12月19日に「東京都高潮浸水想定区域図」が改定されました。最新の区域図は、右記の二次元コードよりご確認ください。



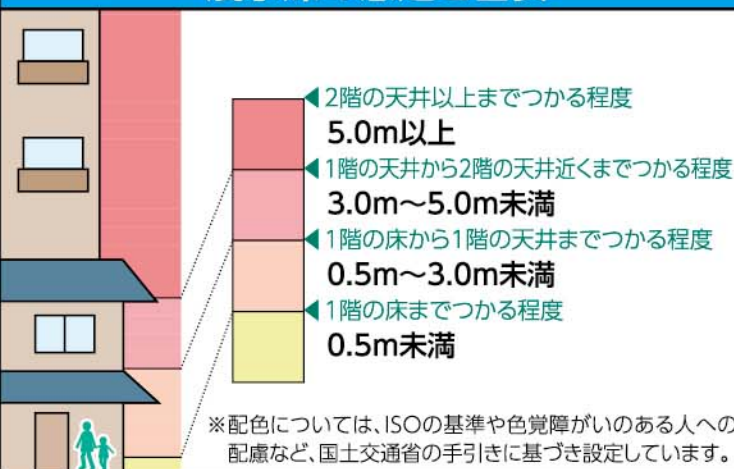
水防監視カメラ

カメラの映像は、下記の二次元コードよりアクセスしてください。



◆旧呑川水門 ◆天空橋

浸水深の想定と目安



◆高潮

高潮が発生すると、大量の水がまもなく流れ込み、家屋損壊する恐れがあります。また、浸水被害が広範囲に及びます。

水害時緊急避難場所

- 全階使用可
- 条件付き使用

ハザードマップ(多摩川、高潮、中小河川)を重ね合わせた場合の最大浸水範囲

1 : 40,000
0 1000 2000m

水防法に基づく高潮ハザードマップ〔浸水継続時間〕

超大型の台風の接近で海面が上昇した場合

- ◆このハザードマップは、東京都が公表した「東京都高潮浸水想定区域図(令和4年4月13日)」において、台風による高潮が発生した場合に、浸水が想定される区域と想定される浸水の継続時間を示したものです。
- ◆想定される高潮は、上陸時中心気圧910hPa、最大旋風半径75km、移動速度73km/hの台風による高潮です。
- ◆令和6年12月19日に「東京都高潮浸水想定区域図」が改定されました。最新の区域図は、右記の二次元コードよりご確認ください。



水防監視カメラ

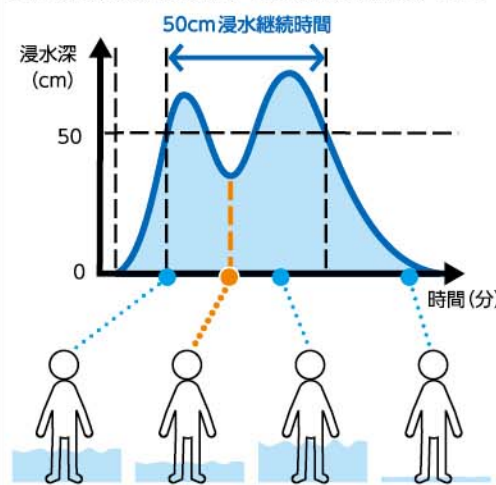
カメラの映像は、下記の二次元コードよりアクセスしてください。



◆旧呑川水門 ◆天空橋

◆浸水継続時間図

浸水深が50cmになってから、最終的に50cmを下回るまでの時間(50cm浸水継続時間)の最大値を図化したものが、「浸水継続時間図」です。



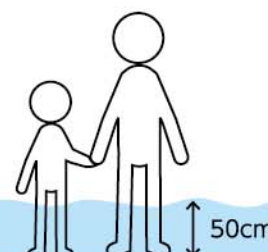
一度、水が引いて50cmを下回っても、まだ安心できません。再び増水して50cmを上回る場合があります。

浸水継続時間凡例(浸水深50cm以上)

0時間～12時間未満	3日～7日未満
12時間～24時間未満	1週間以上
1日～3日未満	

◆50cmの浸水とその継続時間

50cmの浸水は大人の膝くらいまでつかう状態です。このマップでは、50cm以上の浸水がどれくらいの時間続くかの目安を示しています。



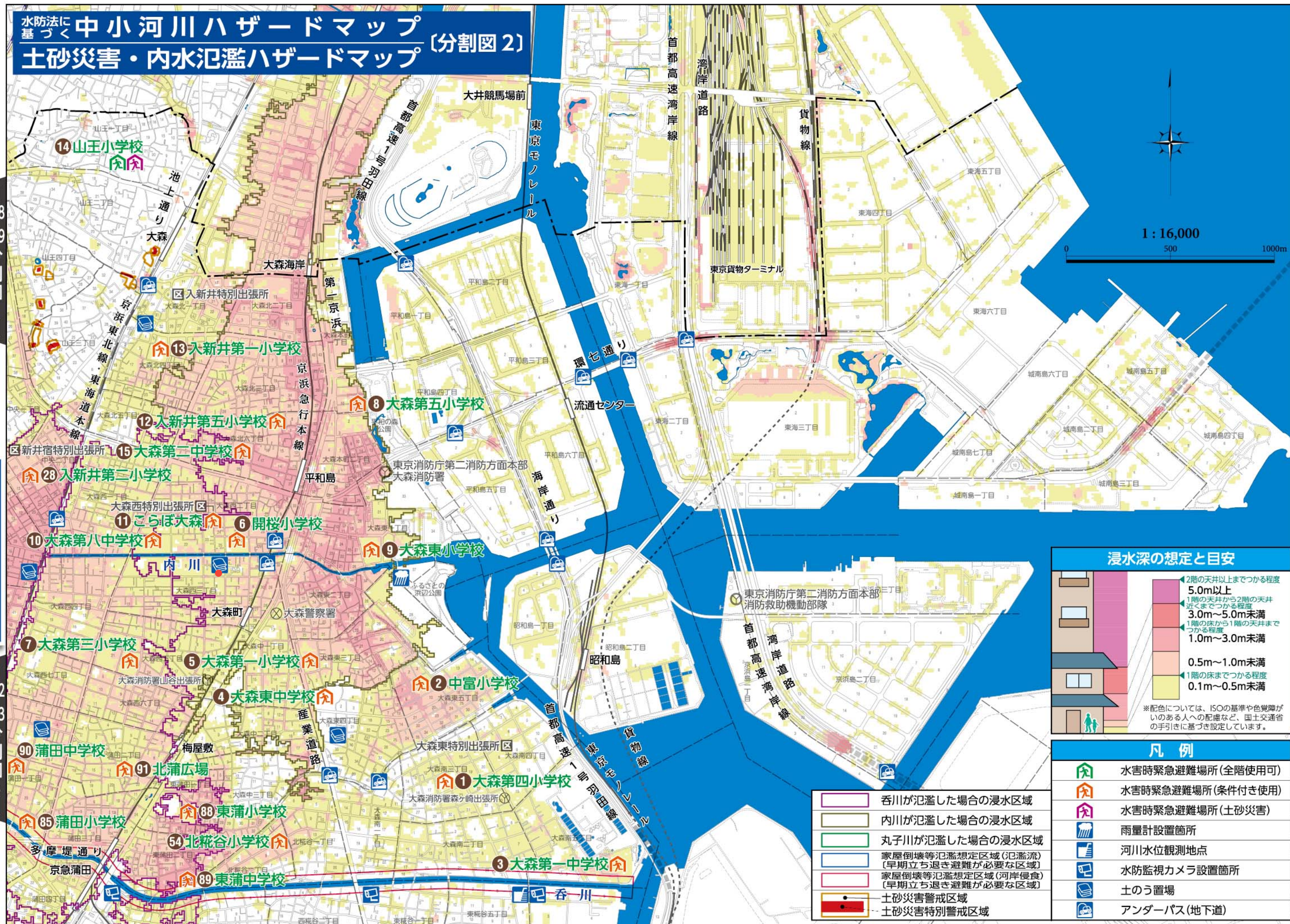
1 : 40,000
0 1000 2000m

水防法に基づく中小河川ハザードマップ [分割図2] 土砂災害・内水氾濫ハザードマップ

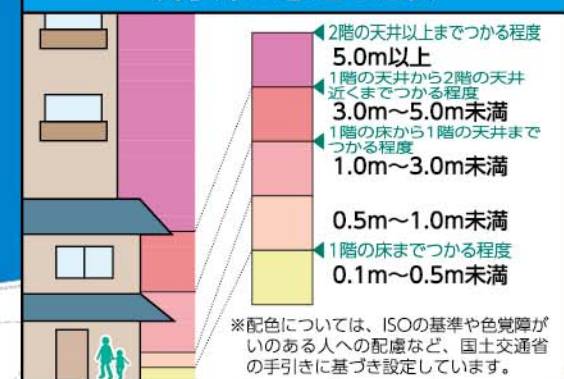
P38・P39 分割図1

3 風水害編

P42・P43 分割図3



浸水深の想定と目安



凡例

- | | |
|--|---------------------------------------|
| | 水害時緊急避難場所(全階使用可) |
| | 水害時緊急避難場所(条件付き使用) |
| | 水害時緊急避難場所(土砂災害) |
| | 雨量計設置箇所 |
| | 河川水位観測地点 |
| | 水防監視カメラ設置箇所 |
| | 土のう置場 |
| | アンダーパス(地下道) |
| | 呑川が氾濫した場合の浸水区域 |
| | 内川が氾濫した場合の浸水区域 |
| | 丸子川が氾濫した場合の浸水区域 |
| | 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
[早期立ち退き避難が必要な区域] |
| | 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
[早期立ち退き避難が必要な区域] |
| | 土砂災害警戒区域 |
| | 土砂災害特別警戒区域 |

▼P44・P45 分割図4▼

3 風水害編